



令和 7 年（2025 年）3 月 6 日 公表  
 令和 6 年版 山口県瀬戸内海側重要魚種の資源評価

サワラ（瀬戸内海系群）

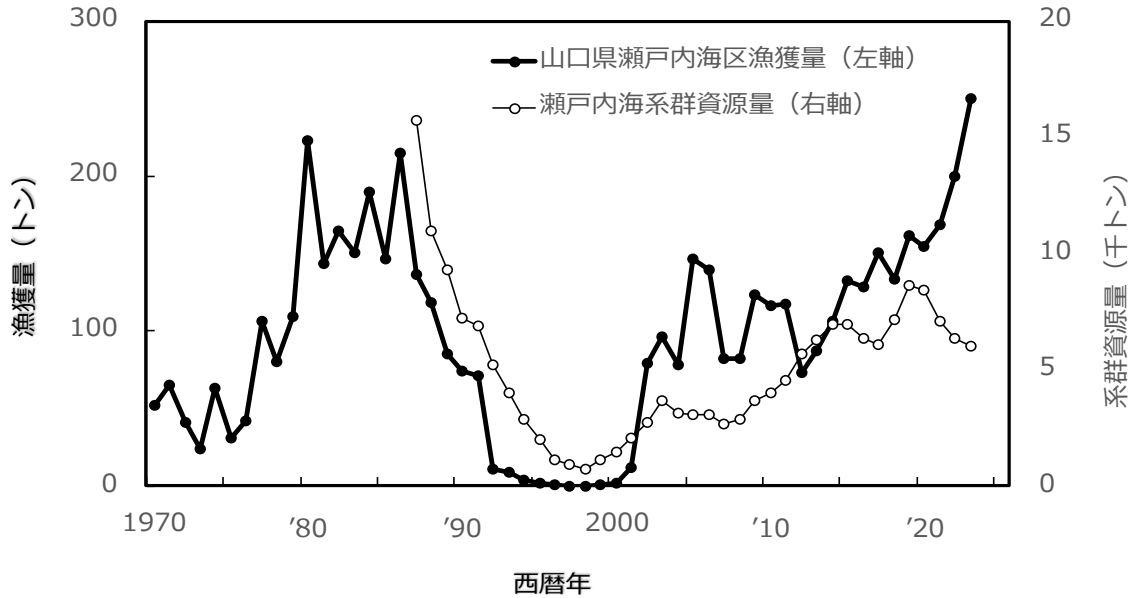


図 山口県瀬戸内海区サワラ漁獲量（農林水産省統計情報水産業調査 HP）及び瀬戸内海系群サワラ資源量（(国) 水産研究・教育機構資源評価報告書）の推移

【漁業】サワラは主に流しさし網、ひき縄で漁獲される。主な漁獲サイズは尾叉長 65～80cm（3～4 歳）である。

【漁獲量】山口県瀬戸内海区の漁獲量は、1980 年の 223 トン、1986 年の 215 トンをピークに減少傾向に転じ、1996 年～2000 年には 1 トン未満まで著しく減少したが、2002 年以降増加傾向に転じ、2023 年は 250 トンとなった。

【資源状態】資源量は 1987 年の 15,718 トンから急激に減少し、1998 年に最低値の 688 トンとなった。1999 年から増加傾向で推移したが、2020 年以降は減少傾向となった。2023 年は 5,978 トンと推定され、前年（6,345 トン）と同程度であった。親魚量は資源量と似た推移を示し、2023 年は 3,536 トンと推定され、前年（4,229 トン）より減少した。漁獲割合は 2005 年から減少傾向で推移していたが、2020～2022 年に増加し、2023 年は 39%で前年（41%）より減少した。

サワラ瀬戸内海系群の資源評価関連指標値等 (単位：トン)

2023 年 漁獲量	最大持続生産 量 (MSY)	2023 年 親魚量	目標管理 基準値 (案)	限界管理 基準値 (案)	禁漁水準 (案)
2,324	5,600	3,536	12,900	5,700	900